



65

Internationale
Filmfestspiele
Berlin

第65回ベルリン国際映画祭コンペティション部門上映作品

運命を、書き直す。

SABU監督作品

天の茶助

CHASUKE'S JOURNEY

松山ケンイチ 大野いと

大杉 漣 伊勢谷 友介 田口浩正 玉城 ティナ 寺島 進

原作: SABU「天の茶助」(幻冬舎文庫) 脚本: SABU 音楽: 松本淳一
 撮影: 相馬大輔 (J.S.C) 照明: 三善章彦 美術: 黒川通利 録音: 横澤匡広 衣裳: 西留 由起子 ヘアメイク: 橋本伸二 助監督: 塩崎 遼 制作担当: 堀田剛史
 VFXスーパーバイザー: 大萩真司 / 藤井義一 グレーディングアーティスト: 長谷川 将広 編集: 相良 直一郎 音響効果: 渋谷圭介 / 佐藤祥子
 企画開発: 大成祐賢 ライン・プロデューサー: 的場 明日香 音楽プロデューサー: 安井 輝 主題歌: Ms.OOJA「翼」(UNIVERSAL MUSIC)
 エグゼクティブ・プロデューサー: 森 昌行 製作: 川城和実 / 大角 正 コー・エグゼクティブ・プロデューサー: David Atlan-Jackson プロデューサー: 市山尚三
 製作委員会: パンダイビジュアル / 松竹 / オフィス北野 配給: 松竹メディア事業部 / オフィス北野 ©2015「天の茶助」製作委員会

沖縄県 沖縄県観光振興局 沖縄県観光振興局 沖縄県観光振興局 沖縄県観光振興局 沖縄県観光振興局 chasuke-movie.com

愛と情熱が疾走する沖縄ファンタスティックムービー!!





その男は天から降りてきた。 たったひとりの女性を守るために……。

監督デビュー作『弾丸ランナー』(1996)以来、国内はもとより海外からも熱い視線を浴び続けるSABU監督の最新作は、異世界をめぐる独特のファンタジーでありながら、南国・沖縄を舞台に笑いと涙、愛とスリルの人間ドラマが弾ける痛快エンタテインメントだ。

主演は、これが『うさぎドロップ』に続くSABU監督との再タッグとなる松山ケンイチ。茶助をめぐる面々には大野いと、伊勢谷友介、田口浩正、玉城ティナといったニューフェイス組に加え、SABU組常連の大杉漣、寺島進がさらなる支えに回って見事に脇を固めている。さらに地元エキストラの全面協力により沖縄ゆかりの祭事、祭礼が混沌と再現されるクライマックスのダイナミックな映像表現も大きな見どころだ。北野武監督作品を世界に送り出してきたオフィス北野が制作を担当。SABU監督の作家性が100%発揮された本作品は、第65回ベルリン国際映画祭のコンペティション部門にも選出された。

SABU伝説に新たな1ページを刻んだ魂の秀作、見逃すことは天が許さない!?

天界——。

白い霧が漂い、どこまでも続くような広間。
そこでは数えきれぬほどの脚本家が白装束で巻紙に向かい、
下界の人間たちの「シナリオ」を書いていた。
人間たちは彼らが書くシナリオどおりに人生を生き、それぞれの運命を全うしているのである。
茶番頭の茶助(松山ケンイチ)は脚本家たちに茶を配りながら、
そんなシナリオの中で生きている人間たちの姿を興味深く眺めていた。
中でも、口のきけない可憐で清純な女性・新城ユリ(大野いと)への関心には恋心にも似た感情があった。
そのユリが車に跳ねられて、死ぬ運命に陥ってしまったことを知る茶助。
ユリを救う道はただひとつ、シナリオに影響のない天界の住人・茶助が自ら下界に降り、
彼女を事故から回避させるしかなかった……。

chasuke-movie.com

@tennochasuke f www.facebook.com/chasukemovie

天の茶助

6月27日(土) 全国ロードショー